プリアンプ

NHB-18 NS

取扱説明書

darTZeel NHB-18 NS のお買い上げ有り難うございます。

　アンプをご使用になる前に、今後のお取扱の参考の為に、この取扱説明書をお読みください。
開封する際、移動中のダメージが無いかどうか確認してください。 何か問題が発生した場合は直ちに運送業者かお買い上げになった販売店にご連絡ください。 また、万が一修理や何らかの事情により再度移動する必要のある時の為に、梱包材料を保存しておいて下さい。

開封

箱から商品を取り出して、中身を確認してください。

・ アンプ本体	1台
・ 電源部	1台
・ リモコン	1個
・ 電源ケーブル	1本
・ 電源ケーブル用 2P/3P 変換プラグ	1個
・ 保証書請求カード	1枚
・ 取扱説明書 （本紙）	

※欠品がありましたら、直ちにお買い上げいただいた販売店に連絡してください。

設置

ラック面、壁などから5cm 以上離して通風の確保が出来るよう設置してください。 また、電源部を熱くなる場所におかないでください。（直射日光が当たる窓際、ヒーターのそば、アンプ類のそば等）
NHB-18NS はバッテリー駆動のプリアンプです。 始めに使用する際は、電源部を接続して充電をしっかり行ってから使用してください。
使用するすべての機器の接続が正しくされているか確認してから、最後に電源を ON にして下さい。
本体電源を ON にして約 10 秒ほど経つと、本体からカチっと音が鳴ります。 ここで、アンプが操作出来、駆動する状態になります。

安全対策とメンテナンス

1） アンプは電気を消費し、熱を発して作動するように設計されていますので機器の周りは5cm 程度の間隔をあけて換気を妨げないようにしてください。
2） 極端に暑いところや寒い所、湿度の高い所での使用は避けてください。
3） 正しく接続されているか確認されるまで、電源ケーブルを接続しないで下さい。
4） 本体の上、もしくは内部に液体をこぼさないようにしてください。
5） 清掃する時は、必ず電源コンセントを抜いてください。 柔らかい乾いた布で拭いてください。合成洗剤・アルコール洗剤などのクリーニング液を使用しないで下さい。
6） 急に寒いところから暖かいところに移ると、内部で結露を起こす事があります。 このような場合、最低 1 時間は電源を入れずに待ち、室内温との差がなくなってから電源を入れてください。
7） ヒューズ交換以外の何か複雑な修理が必要な際は、購入されたお店にご相談ください。
8） ヒューズを交換する際は、同じ定格のものをご使用下さい。
9） 埃などの汚れは音質を低下させるだけでなく、機材の寿命も縮めます。 常に周辺を清潔な状態を保ってください。

バッテリー駆動

NHB-18NS はバッテリー駆動のプリアンプです。 駆動方法は 2 種類あり、1つはバッテリーの寿命を長持ちさせる AC モード、もう1つはハイパフォーマンスを実現するオートマチックモードです。（この切替はフロントパネルのスイッチで行なえます。 項目：AC モード／オートマチックモードを参照）
AC モード時で電源を ON にしている時は、本体中央 Power Nose ボタン下の LED ランプが緑色に点灯し、電源 OFF 時には赤色に点灯します。 このモードにおいては、（コンピューターの UPS の様に）パワーはバッテリー経由で外部の電源ユニットより供給されますので、バッテリー駆動で無い状態になります。
オートマチックモードの際、電源を ON にした状態で本体中央パワーノーズボタン下の LED ランプがオレンジ色に点灯している時、バッテリー駆動状態である事を示します。
電源 ON 時バッテリーの充電を必要としている場合、自動的にバッテリーの電源を充電します。 その際、本体の Power Nose ボタン下の LED ランプが赤く点灯し、バッテリーの充電量が減っているサインを示します。 電源部と電源ケーブルを接続し本体の電源が ON の状態で、上記のように LED ランプが赤く点灯している間はバッテリーを通さない AC 電源で駆動し、バッテリーは充電状態になっています。 ある程度バッテリーの充電がされると、フル充電されていなくてもバッテリー駆動モードに切り替わります。
フル充電から充電が切れるまで、約 10〜12 時間程駆動できます。
バッテリーを充電する為に、アンプを使用していない場合は本機の電源を OFF にし、バッテリー充電モードの AC モードにする事をお勧めします。 電源を OFF にした状態で本体の Power Nose ボタン下の LED ランプが、緑に点灯している場合は充電中を示し、点灯していない場合は充電完了を意味します。

※ また本機はバッテリー駆動の為、バッテリー電圧が低い環境で長い間放置しておくとバッテリーの寿命が短くなりやすいので、長期間使用しない場合でも本体に電源部を接続し、電源部に電源ケーブルをつないでおいてください。 電源部と電源ケーブルを接続しない状態で置いておく際、フル充電状態からでも1～2週間以内に再び電源部と電源ケーブルを接続して充電して下さい。

使用頻度や時間、またどの様な環境にあるかでバッテリーの寿命の持ち方に差が出る為、本書を読み使用して下さい。

フロントパネル

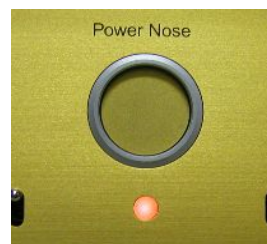
1. Power Nose ･･････････	電源の ON/OFF をします
2. Enjoyment Source ････	1～6の入力の切り替えをします。 1ch：フォノ入力　2～5ch：アンバランス入力　6ch：バランス入力
3. Pleasure Control ･･････	ボリュームの調整をします
4. Balance Control ･･････	左右のバランスを調節します
5. Mute / HT Bypass ････	短押し→ ミュートの ON/OFF 長押し→ バイパスモードへの切替・解除
6. Mono-Stereo ････････	短押し→ モノラル・ステレオの切替 長押し→ イルミネーションの点灯・消灯
7. Identity Plate ････････	シリアルナンバープレート
8. IR receiver ･･････････	リモコン受信口

リアパネル

1. Phono Input ･････････････････	フォノ入力　1系統 初期設定 MC：gain = 60dB, load = 836Ω （カートリッジの出力レベル 0.3～1mV に対応）
2. Line RCA / Zeel input ･････････	RCA アンバランス・BNC 入力　　　合計4系統
3. Line RCA / Zeel input ･････････	
4. Line XLR Input ･･･････････････	XLR バランス入力　1系統
5. Line XLR Output ･････････････	XLR バランス出力　1系統
6. Line RCA Output ･････････････	RCA アンバランス出力　1系統
7. Line dart Output ･････････････	BNC 出力　3系統
8. Line RCA Fixed Output ････････	RCA アンバランス　REC アウト　1系統
9. Power Supply / Trigger Outputs ･･	電源部のケーブル差込口

フロントパネル

Power Nose

本体部分の電源の ON/OFF を切り替えます。
ON は黄色に点灯(右写真)、ﾊﾞｯﾃﾘｰ減少のサインは赤色に点灯。
電源 OFF は無点灯。 電源 OFF 時のﾊﾞｯﾃﾘｰﾁｬｰｼﾞ中は緑に点灯。
(電源部の ON/OFF のスイッチはありません。)

Enjoyment source

1～6ch の入力の切り替えをします。
　1ch:フォノアンバランス入力
　2～5ch:アンバランス入力
　6ch:バランス入力)

Pleasure Control

ボリューム調節をします。ボリュームはマルチターン 0.5dB ステップ 192 ポジション。
音質を最優先する為、オーディオ史上初のシグナルパス上にどんなスイッチも使われていない回路になっています。 入力切替や音量の調節の回路、ﾎﾟﾃﾝｼｮﾒｰﾀｰ、抵抗、ﾗﾀﾞｰ抵抗、ﾘﾚｰ、VCA 等使われておりません。
ボリュームは完全なマルチターン方式になっておりボリューム位置を特定する機能がありません。従って、最初にプレーする時は音量を最小の位置に設定し、その後お好みの音量に調節してください。 電源を ON にした時は、前回電源を OFF にした時の音量と同じになりますのでご注意下さい。

Balance Control

左右のバランスを調節します。
黒い印がどのポジションに来ているかを示し、右の画像の様に中央に黒い印がきている状態が、左右バランスが中央にきている事を示します。
中央を 0dB とした場合、左右に3．5dB のバランス調整が可能になります。
(完全な右ポジションの場合、右 ch は最大 3.5dB 上昇し、左チャンネルは同様に−3.5dB 減少します。 左 ch の場合も同様です。)

Mute

スイッチを下方に押す事でミュートに切り替えます。
通常時は黄色に点灯(左写真)。 ミュート時は赤色に点灯。
また長押しする事で、ホームシアターバイパス機能に切り替えられます。(項目:ホームシアターバイパス機能　参照)
ホームシアターバイパス機能セッティング時は緑色に点灯します。

Mono/Stereo

スイッチを下方に押す事で、モノラルとステレオを切り替えます。
ステレオの時は黄色に点灯(右写真)。モノラルの時は赤色に点灯。
また、5秒間長押しする事で、前面パネルのイルミネーションを消す事が出来ます。(項目:イルミネーション　参照)

LED ランプ

3つの LSD ランプはさまざまな状態を示します。

AC モード			
中央のパワーLED	電源　:ON 時 →	GREEN（緑）　＝	通常駆動モード （バッテリーチャージしながら駆動）
	電源　:OFF 時 →	RED（赤）　＝	Permanent charge（永続チャージ） ／バッテリーメンテナンスモード
（電源 ON 時は Mono/Stereo･Mute･Power Nose の 3 つのランプが点灯。 OFF 時は中央 Power Nose ランプのみ。）			
Automatic モード			
中央のパワーLED	電源　:ON 時 →	ORANGE（ｵﾚﾝｼﾞ）　＝	バッテリー駆動モード
		RED（赤）　＝	チャージ中
	電源　:OFF 時 →	GREEN（緑）　＝	チャージ完了 （中央部のみ点灯）
		ORANGE（ｵﾚﾝｼﾞ）　＝	チャージ中 （中央部のみ点灯）
（電源 ON 時は Mono/Stereo･Mute･Power Nose の 3 つのランプが点灯。 OFF 時は中央 Power Nose ランプのみ。）			
ミュート LED	電源　:ON 時 →	ORANGE（ｵﾚﾝｼﾞ）　＝	通常モード
		RED（赤）　＝	Mute（ミュート）
		GREEN（緑）　＝	ホームシアター･バイパスモード
	:OFF 時 →	NO LIGHT（無点灯）	
Mono/Stereo LED	電源　:ON 時 →	ORANGE（ｵﾚﾝｼﾞ）　＝	ステレオモード
		RED（赤）　＝	モノラルモード
	:OFF 時 →	NO LIGHT（無点灯）	
リモコン受信中は 3 つのランプが全て緑色に点灯			

ホームシアターバイパス機能

ゲインが 0dB になります。 ※ ホームシアターバイパス機能に切り替えた場合、大音量になりますのでご注意下さい。

NHB-18NS は電源 ON 時、ミュートボタンを下方に約 7 秒ほど長押しする事で、ホームシアターバイパス機能に切り替える事が可能です。

ホームシアターバイパス機能にセッティングされている入力は、本体の電源が ON 時にそのチャンネルに切り替えると、Mute ランプが緑色に点灯します。

入力1～6それぞれ個別に設定します。電源 ON 時に設定が可能です。

※ この設定の解除は、ホームシアターバイパス機能にセットした入力に合わせて、ミュートボタンを再び 7 秒ほど長押ししてください。

イルミネーション

NHB-18 NS はホームシアター用に、全ての（LED とノブ周り）のイルミネーションを消す事が出来ます。

操作は以下です。（電源 ON 時に設定が可能です）

1） フロントパネルの Mono/Stereo スイッチを3秒間下方に押し続ける。

2） リモコンのプラスとマイナス音量ボタンを、同時に約1秒間押す。

※ イルミネーションを消した状態からイルミネーションが点灯した状態に戻したい時は、上記と同じ操作を行ってください。

AC モード／オートマチック・モード

1．オートマチックモード

オートマッチクモードは、最高のパフォーマンスを必要とする時に選択するモードです。
バッテリーがフル充電状態ならば、完璧に AC メイン電源から切り離された状態のバッテリー駆動モードになります。
NHB-18NS を使用して音楽を聴く際は、このモードにする事をお奨めします。
オートマチックモードにおいて NHB-18NS は電源 ON 状態の時には、常にバッテリーモードで駆動しています。（電源を ON にした時、本体中央パワーノーズボタン下の LED ランプがオレンジ色に点灯している時、バッテリー駆動で動いている事を表します）
バッテリーの充電を必要としている場合、本体の Power Nose ボタン下の LED ランプが赤く点灯し、自動的にバッテリーの電源をチャージします。
電源部と電源ケーブルを接続し本体の電源が ON の状態で、上記のように LED ランプが赤く点灯している間はバッテリーを通さない AC 電源で駆動し、バッテリーは充電状態になっています。 ある程度バッテリーの充電がされると、フル充電されていなくてもバッテリー駆動モードに切り替わります。

2．AC モード

AC モードはバッテリーの Permanent Charge（永続チャージ）／メンテナンスを行なうモードです。
AC モードに設定していると本体の電源が ON／OFF に関わらず、バッテリーをフル充電し、バッテリーの寿命を延ばします。
このモードにおいては、（コンピューターの UPS の様に）電源はバッテリーを経由して外部の電源ユニットによって供給されますので、バッテリー駆動で無い状態になります。

オートマチックモード／AC モードの切替方法

Mono/Stereo ボタンと Mute ボタンを両方同時に 2 秒間程押し下げる。（いずれも電源 ON 時に行なう）
1） AC モード時は、中央 LED ランプの色が緑色になる。
2） オートマチックモード時は、中央 LED ランプの色がオレンジ色になる。

※ 毎日 4-5 時間以上といった長時間使用する場合は、毎月 2～3 日間は AC モードに切り替えて下さい。 これでバッテリーの寿命を延ばす事が出来ます。

！！ 注意 ！！
バッテリーの寿命が減ってきた場合、絶対に自分で交換しようとせず、ご購入の販売店、もしくは輸入代理店にご相談下さい。

リアパネル

フォノ入力

入力1はフォノ入力です。 左右両チャンネルともアース接続が可能。 フォノのアースは、スイッチの切替により外部からアースを取る場合のシングルアース(Earth)、電源からアースをとる場合の AC アース(Gnd)、もしくはフローティング(Float)を選択できます。 初期設定はシングルアース(Gnd)。 スピーカーからノイズが出た場合、スイッチの切替によりノイズを最小限に出来ます。
また MM/MC の切替、ゲインやΩ数の変換も可能です。 内部の接続を、ハンダを使用して切替します。(項目:MM/MC・負荷抵抗・ゲインの切替参照)

ライン入力　アンバランス

入力2～5は RCA・BNC 入力です。 スイッチの初期設定のポジションは中央に設定されております。
右ポジションは、Zeel50Ω(BNC)接続用です。
左ポジションの－6dB は、CD プレイヤー等の再生機器の出力レベルが高い場合、6dB 減少させる事が出来ます。

ライン入力　XLR バランス

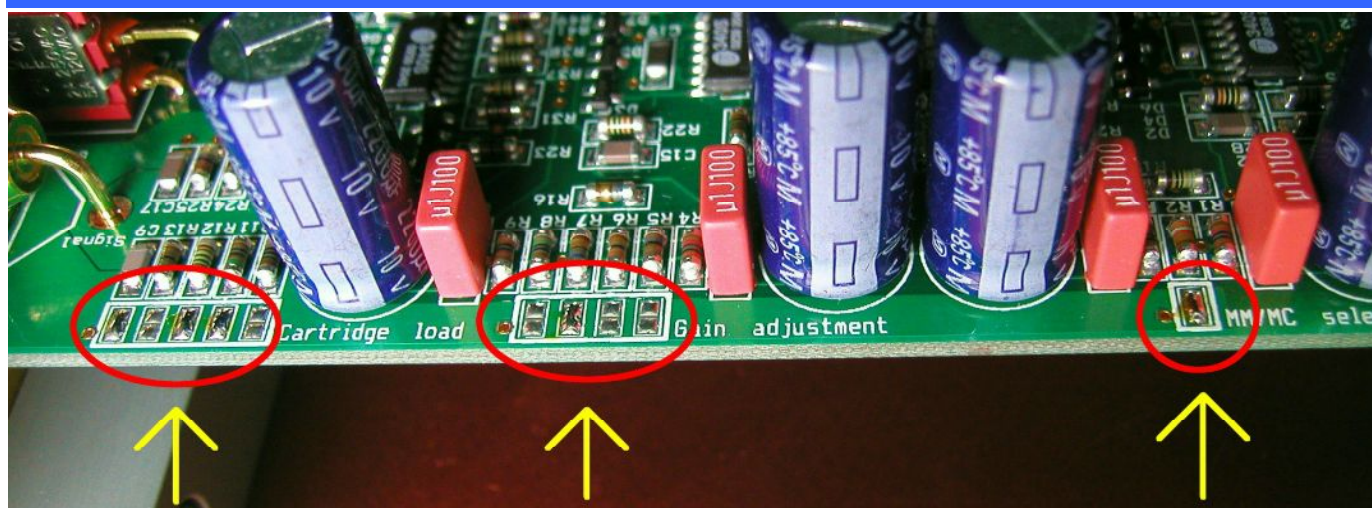
　入力6は XLR バランス入力です。 2つあるスイッチの上段スイッチは初期設定が中央ポジションに設定されております。 右ポジションはプロ・オーディオ用で、600Ω出力の機材を使用する際このポジションに合わせて下さい。 左ポジションは CD プレイヤー等の再生機器の出力レベルが高い場合、6dB減少させる事が出来ます。 但し、この XLR バランス入力のアッテネーションは、トランス付きバランスアウト出力の時のみ有効です。
　下段のスイッチは XLR 接続によってグランドループが発生した場合に、それを解消する為のスイッチです。 初期設定は右でアースです。 中央はフローティング、左は 100Ωを通してのアースになります。

出力

XLR バランス出力:1系統、RCA アンバランス出力:1系統、REC out:1系統、BNC 出力3系統。
BNC 出力は3系統ありますが、A・B・C それぞれが独立しています。 またこの BNC 接続は darTZeel のパワーアンプ NHB-108 model one 専用となっております。
オプティカル built-in filters が起動し、Bi-Amping や Tri-amping 接続を可能にします。

電源コネクター

小型電源部(銀色)からの接続端子を本体に接続する際、しっかりと接続されているか確認してください。 一度差し込み、軽くネジ部分を時計回り方向に回し、さらに奥に差し込む事でしっかりと接続されます。 奥に差し込んだ後にネジ部分をさらに時計まわり方向に回す事で、端子がしっかり固定され引っ張られて抜けてしまう事がありません。
この状態で一度、中央 power nose ボタンで電源を ON にして、またさらに OFF にすると、power nose ボタン下の LED が点灯し、充電を示します。

MM/MC・負荷抵抗・ゲインの切替

NHB-18NS は内部フォノ基盤のハンダにより MM/MC の切り替え、ゲインの調節、負荷抵抗の変換が可能になっております。（初期設定は MC、ゲイン 60dB、 負荷抵抗 338Ω ）
調整が必要な際は、ご購入の販売店様にご相談下さい。

リモコン

リモコンはシンプルに作られており、ボリュームの増減と、ミュートの操作のみ出来ます。
本体がリモコンを受信している間、パワーLED、ミュート LED、Mono/Stereo LED ランプ全てが緑に点灯します。

ノイズ

NHB-18NS を接続する際、特定の環境においてノイズを発する事があります。

1） 本機 NHB-18NS とパワーアンプの電源供給が別々
2） プリアンプとパワーアンプの接続で、ボディーアースのとっていない種類の XLR バランスインターコネクトを使用

上記2つの条件が重なった場合、ノイズを発生する事があります。

ノイズを発生した際の解決方法

1）アースが取れるようなワイヤーを、プリアンプの本体とパワーアンプの本体のシャーシに接続する。
接続方法: フォノのアースポストを使用する、もしくはネジを軽く緩め接続する、等。
2） プリアンプとパワーアンプ両方の電源を、（アース端子の付いた）同じ電源タップからとる。 そうする事で、電源タップを経由してアースがとられる。

Specification

ゲイン	ライン 11dB フォノ 30〜66dB
周波数特性	1Hz〜1MHz, +0, −6 dB 10Hz〜100kHz, +0, −0.5dB 20Hz〜50kHz, ±0.5 dB (XLR 出力・入力)
SLEW RATE	＞88V/μs, peak to peak
全高調波歪	＜1% 7Hz〜77kHz
クロストーク	＜ -90dB 20Hz〜20kHz
S/N 比	ﾗｲﾝ入力: ＞100dB 2Volts RMS ﾌｫﾉ入力: ＞70dB
消費電力	最大 70W
ｻｲｽﾞ（W×D×H）	440mm×335mm×170mm （415mm(D)ﾊﾝﾄﾞﾙ部分含む）
重量	本体 23kg, 電源部 3kg

保証

本機の保証は株式会社ナスペックが行います。

同梱の保証請求・登録カードに必要事項をご記入の上、ご購入後 10 日以内に同梱の封筒に入れてご返送ください。 折り返し保証書をお送りいたします。

※ 修理品についてのご質問・送り先は、下記 本社/サービスセンターにてお受け致しております。

詳しいお問い合わせは darTZeel 日本輸入総代理店 **株式会社 ナスペック**

本社/サービスセンター 〒500-8386 岐阜県岐阜市薮田西 1-4-5 TEL 058-215-7510 FAX 058-268-7118

東京営業部 〒157-0064 東京都世田谷区給田 1-9-24 TEL 03-5313-3831 FAX 03-5313-3839

e-mail: info@naspecaudio.com URL http://naspecaudio.com